

どりーまあ通信

● 第10号 2000年 12月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆

どりーまあサービス

〒770-0939 徳島市かちどき橋2丁目28-4

TEL 088-626-3237

FAX 088-611-7035

E-mail : dramer@nmt.ne.jp

発行責任者 山口 浩志

主な内容

みんなの広場	2
「たすけあい隊」が行く	3
イベント情報	4
声	5
事務局だより	6
活動報告・活動実績	7
	8

変化していくことへのときめき

理事長 山口 浩志



一人ひとりが意志と行動を重ね合わせて生きていくことほどパワフルなことはありません。長い人生の中で他人と比較しながら得られる豊かさではなく、常に自分自身であり続けられることは最高の生き方でしょう。在宅介護の仕事に携わり、常に日々刻々と変化の生る現場を目のあたりにする中、自分のあるべき姿が読みきれず、もがきながら悶々と日々を送ることもよくあります。しかし、私はそうした事の全てがこの仕事の基盤となっており、世の中で最も繁盛なことは、変化すること「でしょう」。

「変化していく自分」にワクワクしながら歩んでいこうと思っております。人生立ち止まったところがゴール。生ある限り止まることなく前進してまいりますので、今後とも皆様方の温かいご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

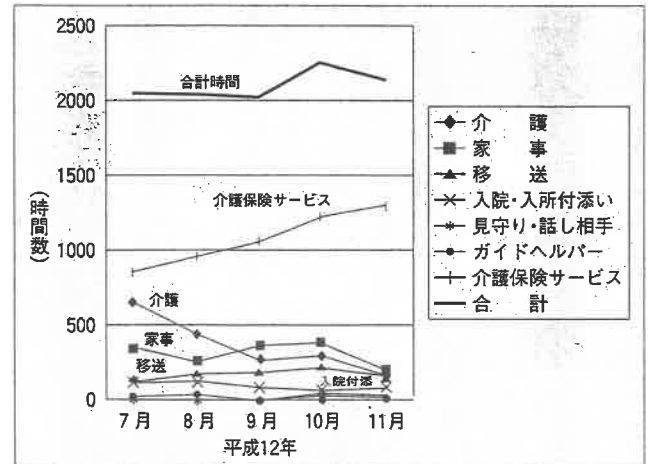
地区別・サービス形態別表 (会員数)

平成12年12月12日現在

	家	移	移	移	介	ガ	見	見	施	代	入	通	小	協	合	
	事	送	送	送	護	イド	守	守	設	行	院	院	力	員	計	
	護	介	家	子	事	ヘル	り	り	話	手	付	付	会	計		
	送	護	事	守	事	パー	り	り	し	続	添	添	員	員		
	送	護	事	守	事	パー	り	り	し	続	添	添	員	員		
徳島市	53	9	41	1	21	24	5	4	2	9	5	2	9	186	123	309
鳴門市	1	3	4	2		2							12	7	19	
阿南市	1	1		2									4	4	8	
小松島市	2	1	9	1						1	2		16	11	27	
石井町			7			2			1				10	7	17	
鳴島町	4	3	15	2	1						1		26	16	42	
川島町		3											3	15	18	
山川町	1	2							1				4	4	8	
穴吹町													0	1	1	
脇町		1											1	2	3	
市場町			1										1	1	2	
土成町		3		2							1		6	4	10	
吉野町		1	2	1									4	1	5	
上板町			4										4	4	8	
板野町		1	2		1								4	2	6	
藍住町	1	2				1			1		1		6	6	12	
北島町			2								1		3	4	7	
松茂町			1	1									2	4	6	
佐那河内村													0	2	2	
勝浦町													0	1	1	
羽ノ浦町	1				1								2	2	4	
阿波町													0	1	1	
海南町											1		1	1	1	
三加茂町													0	1	1	
神山町													0	1	1	
神戸市													0	1	1	
合計	64	27	91	2	31	1	26	10	4	2	12	5	3	16	1	295

活動実績 (時間数)

	介	家	移	所	入	話	見	ハ	ガ	サ	介	合
	護	事	送	付	院	し	守	ル	イド	ー	護	計
	送	事	送	添	入	相	り	バ	ド	保	保	
	送	事	送	い	入	手	・	ー	ド	険	険	
	送	事	送	い	入	手	・	ー	ド	険	険	
平成12年7月	561.5	356.0	137.0	136.0	0.0	5.0	831.5	2027.0				
8月	455.0	266.0	173.0	147.5	0.0	6.0	975.5	2023.0				
9月	296.5	381.5	181.0	87.0	0.0	0.0	1068.0	2014.0				
10月	331.5	386.5	257.0	84.0	18.0	22.0	1277.0	2376.0				
11月	314.0	205.0	225.0	90.0	12.0	10.0	1353.5	2209.5				



「ふれあい型グループホーム」推進に向けて

さわやか福祉財団 神谷 和夫

少子高齢化が急速に進み、家族関係が変化していく中で、地域社会における人々の、ふれあい、協力しあう生き方や住まい方が、社会的サービスなどと関連して、新しい時代の課題として注目されてきました。

現在、ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が顕著な増加傾向を示しています。これは、高齢者と支える家族や地域のあり方、高齢者自身の生き方が、時代と共に変わってきたことの現れでもあります。また、これに伴って、高齢者の生き方そのものに直結している住まい方も大きく変わろうとしています。

公的介護保険制度が発足し、高齢者の身体の安心の面では大きく前進することとなりました。残るは生活の安心、心の安心です。さらに、介護が必要になって対応する制度だけでなく、高齢者がいつでも元気であり続けるために、地域の中でどのような生活、住まい方であったらそれが実現できるのかも、より重要な問題であると思います。

こうした認識に立って、私たちは「ふれあい型グループホーム」という新しい住まい方を提案しています。「ふれあい型グループホーム」とは、様々な人達が地域の中で共に生きていこうという気持ちで集い、生活の一部共同化、役割の分担などで支え合う、地域に溶け込んだ住まい方、言葉を換えれば、自立と共生のバランスをとりながら、地域の中で意欲的に生活し続けることができ「新しき家族」で構成された「自宅」であると言えます。

現在、気持ちを同じくする全国の団体・個人と連携したいと考え、「ふれあい型グループホーム」を始めとした共生型住まい全国ネット結成を計画しています。

詳しくは、さわやか福祉財団グループホーム担当までお問い合わせ下さい。

TEL (03) 5470-7751
FAX (03) 5470-7755

活動報告

- 8/29(火) 難病検討会 (於: 県庁内)
- 8/31(木) 介護保険サービス調整会議 (於: 利用者宅)
- 9/11(月) 難病対策実務者会議 (於: 徳島保健所)
- 9/13(水) パーキンソン病教室 (於: 北島町役場内)
- 9/24(日) 全国ボランティアフェスティバル
分科会シンポジストとしての参加
(於: 厚生年金会館)
- 9/25(月) 法人会計ミーティング
(於: どりーまあ OFFICE)
- 9/26(火) 難病検討会 (於: 県庁)
NHK取材 (於: どりーまあ OFFICE)
- 9/27(水) 毎日新聞取材 (於: 利用者宅)
- 9/29(金) NHK取材 (於: 利用者宅)
- 10/1(日) 徳島 SHC 研究会セミナー
(於: 県総合福祉センター)
- 10/3(火) 四国放送取材
(於: 利用者宅、どりーまあ OFFICE)
- 10/7(土) さわやか福祉財団主催地域たすけあい研修
(於: 宇多津プラザ)
- 10/18(水) NHK 視聴者会議 (於: NHK 徳島放送局内)
- 10/19(木) ケース検討会議 (於: 鳴島保健所)
- 10/26(木) 雇用管理セミナー (於: 鳴島セントラルホテル)
- 10/30(月) 介護保険サービス担当者会議 (於: 利用者宅)
- 11/9(水) 『地域協同』シンポジウム参加
(於: 東京 JA 会館)
- 11/14(火) 難病対策実務者会議 (於: 徳島保健所)
- 11/15(水) ケースカンファレンス (於: T 病院内)
徳島 SHC 研究会役員会 (於: どりーまあ OFFICE)
- 11/20(月) 毎日新聞社介護賞授賞式
(於: どりーまあ OFFICE)
- 11/21(火) 法人理事会
- 11/23(木) 難病検討会 (於: 県郷土文化会館)
- 11/30(木) 介護保険シンポジウム パネリストとして参加
(於: クレメントホテル)
- 12/3(日) さわやか福祉財団主催地域たすけあい研修
(於: 岡山県総合福祉会館)
- 12/9(土) 第4回徳島 SHC セミナー・人権啓発フェスティバル徳島大会 (於: 県郷土文化会館)
- 12/16(土) 健生ボランティア学校 講演 (於: 健生病院内)
- 12/18(月) ケース検討会議 (於: T 病院内)
- 12/19(火) 介護保険事業者説明会
(於: 徳島プリンスホテル)
法人会計ミーティング
(於: どりーまあ OFFICE)
- 12/20(水) 徳島市介護支援専門員講習会
(於: ホテル千秋閣)
- 12/21(木) 雇用管理セミナー
(於: 介護労働安定センター徳島支部内)

三人の子育てをしながらかほんの少しの合間の時間をさいて活動していただいているニューフェイス北山貴子さんです。登録してからは、登壇してからは、ばらばらと時間的に合わなく休眠状態でしたが、ここ三ヶ月間は目覚ましい活躍ぶりを見せられております。

ご本人も「活動を始めてからはいろいろな会合（P.T.Aや町内会等）に参加して、も、それまで後ろの方に隠れるように座っていたんです。ですけど最近は何事にも気持ち的に積極的になり、まわりの人たちも驚いているんです。でも一番驚いているのは自分でしょうね!!」と笑いながら話す彼女の瞳には、一つの確信を

‘変化していく自分’に自分自身ビックリ!!

とらえた人にしかない輝きがありました。北山さんの支援を受けておられる一人の越久村八重子さんも、「家族のできないことを気軽にやってもらえるし、何よりも長い時間帯でなく必要な時だけその時その時を柔軟に対応してもらえると、変なわずらわしさがないですネ!!」と、こちらも息ピッタリのようです。



みんなの広場

こちら国立療養所徳島病院10病棟からの発信です。何といっても院内ネットワークの情報の早さと患者さん同士の「絆」は素晴らしい限りです。私たちもここでは支援のあり方やボランティアとしての役割、さらには現行医療制度の課題等に至るまで、いろいろな事を学びとれています。

院内で本サービスの利用者が急増中ですが、取材日にたまたま出くわした人たちに声をかけお話を伺ってみました。



飛翔 —心の翼を広げて—

——写真右から順に——

●宮本勝博さん
「最近入ったばかりですが、これからいろんな相談にのってもらえると思うと心強いです。」

●仲田千里さん
「電動イスで少し遠出する、という今までの願いが叶えられました。身のまわりの片づけなんかもやってみたら助かっています。」

●中村桂子さん
「すごい安心感があります。すぐには利用する用事がなくても何かの時にはサービスが使えらると思うと、一つ一つが解決していくようで希望がもてます。」

●中川シナ子さん
「お世話に来てくれるどの方も親切に接していただき喜んでます。もう少し暖かくなったらまた買い物に連れて行って下さいネ。」

●谷岡かよさん
「ほとんど毎週一回ずつお掃除に来てもらっています。今来てくれる人は性格的に合っているのか、お世話をしてもらっているんです。友達だづきあいのような感じですが合えます。だから来てくれるのがすごく待ち遠しいんですよ!!」

事務局だより

毎日介護賞 徳島支局長賞 受賞!!

介護の現場で顕著な活動を展開する団体・個人を表彰するため創設された「毎日介護賞」で、当どりーまあサービスが、毎日新聞徳島支局長賞に選ばれました。去る十一月二十日、事務局で小松原弘人 毎日新聞徳島支局長殿より栄えある表彰盾をいただきました。

これもひとえに地域の皆様毎日の努力の賜物です。



小松原弘人・毎日新聞徳島支局長（手前）から表彰盾を受け取る山口浩志代表

電動アシスト自転車寄贈



この度、さわやか福祉財団を通して日本自転車振興会より、電動アシスト自転車をいただきました。北は北海道から南は鹿児島県まで全国一五〇団体のNPO法人に提供されたそうです。これまた事務局によく働くスタッフが増えました。

スタッフ紹介

この度事務局に三人の新メンバーが増えました。どうぞよろしくお願ひ致します。

- 塩田 基一郎
- 高 島 知世子
- 岡 田 恵子



お願い

私達のたすけあい活動は、サービスチケットを介しての有償ボランティアのシステムをとっております。年末のお歳暮等のお心遣いはご遠慮させていただいておりますのでご理解下さい。

協力会員募集中

《在宅支援活動》にご協力いただける方を募っております。

- ◆簡単な介護
 - ◆家事援助
 - ◆送迎ドライバー
- 皆様のお力で、助け合いのネットワークを広げてゆきましょう。



在宅介護の道を歩みはじめて

介護福祉士 高 島 知世子



施設介護を経、かねてからの「夢」だった在宅介護にかかわること早三ヶ月。

数十人のケアから一人のケア。広い施設から一居室。介護内容も浅く広くから深く濃く。それだけじゃない心のメンタル的なものが行き通う。技術より信頼。経験より信頼。人間と人間の継りがそこにはある。今までの経験を否定されたようなショックを受けたり、自分が情けなくて涙が出そうなの時もあった。それでも辞めたことは、一度も思わな

「原動力は利用者の笑顔です」

「このままずっと引き止めたいけど次の人が待つかとるんだらう？今度いつ来てくれるん？」と言われるようになり、やっとホームヘルパーの一員になったような気がする。「ありがとう。又来てよ。」の言葉をもらう度に「お世話になりました。又お願いします。」のあいさつに充実感。幸福を感じる毎日。ホームヘルパーに転じて良かった。

声



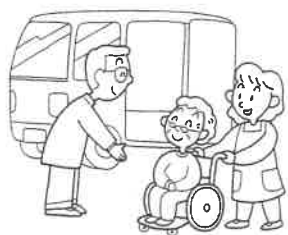
一年前 暇ができ て、さあ どうしよう

かと考えていたら、家内に「どりーまあサービ ス」を紹介された。三十年間、製造現場しか歩いたことがないので若干の不安はあったが「移送」なら、なんとかできるだろうと始めることにし

「未来への挑戦」

塩田 基一郎

た。お年寄りや、身体の不自由な方に直接触れる場合もあるので初めは戸惑いもあったが、相手の反応を見ていくとこれでもいいかなと、少しずつ自信が付いてきた。そうこうしているうちに、失業保険の給付も切れ、再就職先を探し始めたところ、山口理事長よりお誘いの話があり、ご厚意に甘えることにし



最初はボランティア活動として「どりーまあ」の仲間入りしましたが、ヘルパーとして働くようになってからも意識的には変わりないようでもユニフォームを着るとプロとしての自覚を持たなければいけないと実感しています。これからも、人から待たれるヘルパーになりたいです。名賀石真理

ヘルパー事業所も会社も同じでしょうが、リーダーの方の気持ちの持ち方が現場にも反映すると思うので、お世話になっている立場ではありますが、しっかりとした考えを持って地域に根ざしたサービスを提供してほしいと思います。吉田 恒夫さん



いろいろな人に会えることにより自分自身の世界も広がり、毎日楽しく仕事させていただいております。これからも人に喜ばれるヘルパーになれるよう努力しますので皆さんよろしくネ!!

今までちょっとした事でも自分でできなかった事や困った時に皆さんが力を合わせて助けてくれるから、いつも安心していられるし、生きる力を与えてもらっています。



前回に引き続き、「たすけあい」ヘルパーの現場での様子を少しのぞいてみました。と同時にサービスの受け手であるご利用者の皆様のご感想も聞いてみました。中にはちょっと辛口アドバイスもあつたりしましたが、その一言一言が私たちにとっては明日への活力となりその中こそ私たちが目指すべき道を示していただけるのです。そしてご利用者の方々にとってみればヘルパーに対する期待も込められているのだと取材を通して感じました。

ボランティアで入った時（高校生からボランティア活動として参加していた）も最初はドキドキしながらやりましたが、今度ヘルパーとして専門的に働き始めると、今までとは違った緊張感があります。これからいろんな人に会っていきたく、ヘルパーとしてもまた女性としても、どんな人にも気配りができるようにになりたいです。西 恵美

家族の担えないところをボランティアの頃からお世話になっているのですが制度ができて変わらないサービスを受けられて安心しています。林 千代子さん



『たすけあい隊』が行く。ふれあい 支えあい あの町、この人

相手の方に喜んでいただけることが何よりも自分の励みにもなっています。施設で勤務していた経験もあるけど、今は在宅でいろいろな現場を経験していきたいと考えています。大木美恵子

二人のヘルパーさんが交替できてくれていますが、それぞれにいい面があり、自分たちの特徴を生かしながらやってくれるので本当に安心して暮らしています。石原オリエさん



定期的に行っているカンファレンス風景です。ここではひとり一人の支援内容の見直しや自分たちの反省点等を真剣に話し合い、より一層質の高いサービスが提供できるように日々研鑽を積み重ねてお

カンファレンス



ボランティア活動をやっていた時とは責任の分野が違うし、いろいろなところで勉強していきたいと思えます。とにかく利用者の方々から教えてもらうことが多く感謝しながらの毎日です。鎌田 明子

今来てもらっているヘルパーさんと性格的に合うので来てくれる日が楽しみです。息子と離れて暮らしているのでそういった母親としての気持ちも女性の立場から理解してもらえるので心強いです。井上 文子さん



香川会場

香川に助け合いの幅を広げよう

平成十二年十月七日 県健康福祉部長 木幡浩日、香川県綾歌郡内の氏によるパワーあふれる「ユープラザうたづ」に講演、午後からは新設・運営・地域づくり・介護者 約八十名。午前は、保険等についてそれぞれ「財団地域推進委員長」の分科会に分かれてお互いに討議し合いました。木原孝久氏の講演と香川

さわやか財団 一日研修会 (日本自転車振興会補助事業) 各地域に情熱発信!

岡山会場 二〇一一年からの参加型市民社会をめざして 市民が主役のまちづくりのために

平成十二年十一月三日 その後地元で活動している、岡山県総合福祉会館 団体の代表者四名がパにて行われました。会場 ネルデイスカッション形には中四国地方から約八十名の参加があり、最初に NPU 事業サポートセンター常務理事である田中尚輝氏からの講演と、

護 介

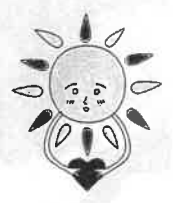
シンポジウム 本シンポジウムとして海南町長 濱皓三氏、(社)呆け老人をかかえる家族の会徳島支部代表世話人 小川洋子氏、どりーまあサービス 山口浩志の三名によってそれぞれの立場からの意見発表が行われた。

やさしくあたたかい、より自然な介護をするために 一なぜ介護保険なの一 主催 徳島県社会福祉協議会 とき：平成12年11月30日 ところ：ホテルクレメント徳島



いぎいき生きる 徳島県社会福祉協議会 平成12年11月30日 会場 ホテルクレメント徳島 「やさしくあたたかい、より自然な介護をするために」と語られました。『どりーまあ』山口としてはボランティアが地域に根づくために制度にふり乱されることなく常に社会の動向を見極めつつ市民の方々と一体となりシステム構築に力を入れていきたい、と訴えかけました。

〈速報〉 徳島にてフォローアップ研修開催決定!! 集まろう、熱き勇者たち!! とき：平成13年1月24日(水) ところ：徳島市 お問い合わせ さわやか徳島(麻野氏まで)(088)692-3457



「地域協同」推進シンポジウム

いぎいきふれあい まちづくり 地域協同で安心して暮らせる地域へ



今年で第二回目を迎える本シンポジウムです。最初に主催者側であるさわやか福祉財団 堀田理事長の挨拶では「介護保険制度は苦情ばかりとり上げられるので誤解を生みやすいが現実は一つ一つの課題は固まりつつあります。一方、ふれあい・たすけあい活動は制度に影響されて低迷しないよう、しっかりと目を見開いていかなければいけない時期にさしかかっているでしょう。すなわち心の安心を生み出すこの運動の力が及ばないことによって個人の人生に悪い影響を与えるようなことがあってはなりません。それぞれの団体の方々におかれては、益々地域からの期待もかかってくる事でしょうから、より一層努力して頑張って下さい。」との力強いお言葉を頂戴しました。

遺伝医学と人権

(講師) 徳島大学医学部 中堀 豊 教授

「遺伝子医学と人権」をテーマにした今回の医療講演は徳島神経難病自助ケア研究会(略称徳島SHC研究会、会長 西田善彦氏)主催で、行政やそなわ家族の会との共催で企画され、約百名の参加者が講演に耳を傾けた。講演の終わった後個別相談コーナーが設けられており、パーキンソン病や

遺伝医学の奥深さに関心集まる!!

脊椎小脳変性症、メニエル氏病などにかかっている当事者及びご家族等が相談に向かれ、西田善彦会長(医師)が対応にあたった。今回のフェスティバルを機に神経難病に対する社会からの理解が深まっていくよう今後も研究会として地道な活動を続けていく必要がある、とスタッフ一同確認し合った。

第4回 徳島 SHC 研究会医療セミナー開催 一人権啓発フェスティバル徳島大会一 とき：平成12年12月9日 ところ：県郷土文化会館

